

では次に、 $\sum_{k=1}^n (I_k - I_{k+1})$ の形の数列の和と“はさみ打ちの原理”を組み合わせた融合問題にもチャレンジしてみよう。

練習問題 50

無限級数とはさみ打ちの原理

CHECK 1

CHECK 2

CHECK 3

次の数列の和 $S_n = \sum_{k=1}^n \left\{ \sin \frac{k\pi}{6} - \sin \frac{(k+1)\pi}{6} \right\}$ を求め、

極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S_n}{n}$ を求めよ。

S_n は、 $S_n = \sum_{k=1}^n (I_k - I_{k+1})$ の形をしているので、部分分数分解型の Σ 計算により、途中の項が消去されて、 $S_n = I_1 - I_{n+1}$ となる。ここで、極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S_n}{n}$ を求めるためには、はさみ打ちの原理を利用すればいいんだね。頑張ろう！

与えられた数列の部分 and S_n を求めると、

$$\begin{aligned}
 S_n &= \sum_{k=1}^n \left\{ \underbrace{\sin \frac{k\pi}{6}}_{I_k} - \underbrace{\sin \frac{(k+1)\pi}{6}}_{I_{k+1}} \right\} \\
 &= \left(\underbrace{\sin \frac{1 \cdot \pi}{6}}_{I_1} - \underbrace{\sin \frac{2\pi}{6}}_{I_2} \right) + \left(\cancel{\underbrace{\sin \frac{2\pi}{6}}_{I_2}} - \cancel{\underbrace{\sin \frac{3\pi}{6}}_{I_3}} \right) \\
 &\quad + \left(\cancel{\underbrace{\sin \frac{3\pi}{6}}_{I_3}} - \cancel{\underbrace{\sin \frac{4\pi}{6}}_{I_4}} \right) + \cdots + \left(\cancel{\underbrace{\sin \frac{n\pi}{6}}_{I_n}} - \underbrace{\sin \frac{(n+1)\pi}{6}}_{I_{n+1}} \right) \\
 &= \underbrace{\sin \frac{\pi}{6}}_{\frac{1}{2}} - \sin \frac{(n+1)\pi}{6} \\
 \therefore S_n &= \frac{1}{2} - \sin \frac{(n+1)\pi}{6} \quad \cdots \cdots \textcircled{1} \quad (n = 1, 2, 3, \dots) \text{ となる。}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 S_n &= \sum_{k=1}^n (I_k - I_{k+1}) \\
 &= (I_1 - I_2) + (\cancel{I_2} - I_3) \\
 &\quad + (\cancel{I_3} - I_4) + \cdots + (\cancel{I_n} - I_{n+1}) \\
 &= I_1 - I_{n+1} \text{ となる。}
 \end{aligned}$$

ここで、 $n = 1, 2, 3, \dots$ と変化すると、 $\sin \frac{(n+1)\pi}{6}$ の値も変化する。しかし、この変化の範囲は $-1 \leq \sin \frac{(n+1)\pi}{6} \leq 1$ に過ぎないので、①を n で割って $n \rightarrow \infty$ とした場合、 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S_n}{n} = 0$ となることは、明らかだね。ただし、これを数学的にキチンと示すためには、“はさみ打ちの原理”を用いる必要があるんだね。

ここで、①の右辺の第2項 $\sin \frac{(n+1)\pi}{6}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) の取り得る値の範囲は、 $-1 \leq \sin \frac{(n+1)\pi}{6} \leq 1$ より、この各辺に -1 をかけて、

$$-1 \leq -\sin \frac{(n+1)\pi}{6} \leq 1$$

$1 \geq -\sin \frac{(n+1)\pi}{6} \geq -1$
(負の数をかけたので、不等号の向きが逆転する。)

この各辺に $\frac{1}{2}$ をたして、

$$\frac{1}{2} - 1 \leq \underbrace{\frac{1}{2} - \sin \frac{(n+1)\pi}{6}}_{S_n} \leq \frac{1}{2} + 1 \text{ より、 } -\frac{1}{2} \leq S_n \leq \frac{3}{2} \dots\dots \textcircled{2} \text{ となる。}$$

②の各辺を $n (> 0)$ で割って、

$$-\frac{1}{2n} \leq \frac{S_n}{n} \leq \frac{3}{2n} \dots\dots \textcircled{3}$$

これで、 $\frac{S_n}{n}$ についての“はさみ打ち”の形が完成した! 後は、 $n \rightarrow \infty$ の極限をとるだけだね。

③の各辺の $n \rightarrow \infty$ の極限をとると、

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \underbrace{\left(-\frac{1}{2n}\right)}_{\textcircled{0}} \leq \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S_n}{n} \leq \lim_{n \rightarrow \infty} \underbrace{\frac{3}{2n}}_{\textcircled{0}} \text{ となり、}$$

左、右の辺の極限が共に 0 に収束するので、はさみ打ちの原理より、

極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S_n}{n}$ も 0 に収束する。

$\therefore \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S_n}{n} = 0$ となって、答えだ。

どう? 無限級数とはさみ打ちの融合問題だったんだけど、もうそんなに難しくは感じないでしょう? 実力が付いてきた証拠だね!